

関西の水源を守る新しい森づくり！

関西の水源が危機！！ 下層植生を再生し 社会、経済、環境を支える 森づくりプロジェクト

滋賀県 高島市朽木 針畑川流域

水源涵養機能の最大化

森林が持つ、水資源を蓄え、
育み、守っている働きを
最大化させるために行う
森林を再生する
プロジェクトへ参画
していただけます！

*Preserving
Diverse
Options for
Future
Generations*

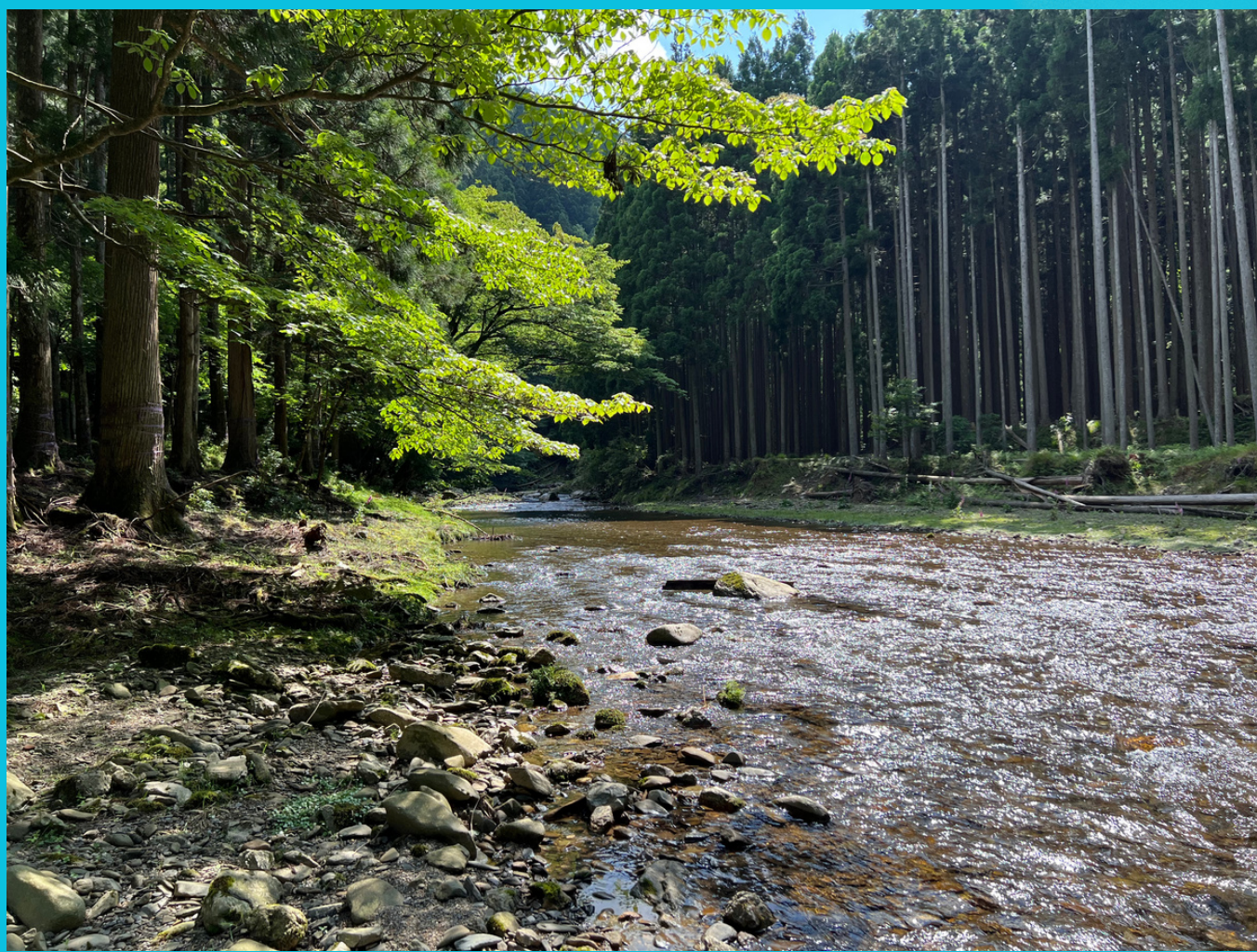
お問い合わせ

株式会社流域デザイン

滋賀県大津市雄琴3丁目7-11

TEL：090-4976-8814

MAIL：iwamatsu@watershed-design.org



朽木 針畑川流域

滋賀県と京都府、福井県の県境、「ザ・秘境」という言葉がぴったりのエリア。アクセスのし辛さは豊かな自然を残し、日本国内でも数少ない天然杉と広葉樹が混じりあう美しい森。琵琶湖に最も多くの水を供給する安曇川の源流河川のひとつ。

課題・困っていること

幼木や土が無くなり、自己再生力が低下！積雪量の減少や、狩猟活動の衰退などが重なり、鹿の生息密度が上昇している。その結果、本来森にあるはずの次世代の稚樹や草が食べ尽くされてしまい、土が剥き出しの状態になっている。このことが、雨とともに土の流出を招くとともに、森林に水を蓄える能力を低下させている。しかしながら、この状況に対する社会的認知と改善の仕組みが存在しない。

- ・土の流失は、森林の自己再生を困難に
- ・鹿を林内に入れない対策が必要
- ・本プロジェクトの資金獲得

活動している人



株式会社流域デザイン 岩松 洋

地域の山林が抱える課題を解決するために、ドイツに存在する森林整備のプロ、フォレスターのような立ち位置で森づくりに本気で関わるべく起業。森林管理の計画づくりや、造林育林技術の研究開発、伐採から製品化までのコーディネート、企業と山林地域とのマッチング等を行っている。

HARIHATA RIVER

最先端の研究プロジェクト
では、その効果も可視化

活動の効果

このプロジェクトでは、研究者との協働により、以下の効果を目指しながら、効果の可視化を目指します。

- ・森林の水源涵養機能改善
- ・研究者や専門家によるサステナビリティ教育
- ・森林での活動による従業員のメンタルリフレッシュとその結果による生産性の向上

プロジェクト活動例

「水源涵養機能最大化のための 森林再生プログラム」

徹底した獣害対策を行い、稚樹や草を回復させることで、琵琶湖に注ぐ河川水量の安定化に繋がることを研究し、その効果について可視化していくことを目指します。大学をはじめとする研究機関や地域、そしてサステナビリティ・SDGS活動を行う企業が連携して取り組む、先進的な森林整備に関する支援（資金・人的）の取り組みです！

- ① 獣害柵の設置
- ② 地域産広葉樹苗木の樹下植栽や保護
- ③ 冬季に侵入する鹿の追い出し、狩猟活動
- ④ 大学等の研究機関との連携による効果・エビデンス研究
- ⑤ 企業様での社屋や商材等への木材利用